

I 学校経営の基本構想

(1) 学校経営の基盤

- ① 関係法規に則り、関係教育施策（新宮町「かがやきプラン」等）に基づく教育の実現
- ② 不易の教育理念や目標に加え、令和の日本型学校教育の構築を目指した教育活動の実現
- ③ これまで培われたよき校風と伝統の継承と、CSを基盤とした社会に開かれた学校づくりの実現

(2) 学校経営の理念

- ① 生徒たちに、よりよい教育を提供することの追求
- ② 職員の仕事に対するやりがいと働きやすさの追求

(3) 校訓及び学校の教育目標

【校訓】

学（がく：知）
 絆（はん：徳）
 鍛（たん：体）

【学校の教育目標】（令和4・5・6年度）

しなやかな知性と感性を兼ね備え、諦めることなく粘り強くやり抜き、
 住み続けられる郷土“しんぐう”を地域と共につくる生徒の育成

(4) 学校の教育課題（生徒に育てたい資質・能力に対する課題）

- ア 学習に自主的で計画的に取り組み、諦めることなく粘り強くやり抜く力の発揮
- イ 依存することに重点を置いた互惠関係づくりの充実と、異学年ブロック活動で培った力の発揮
- ウ 地域で自分たちの力や学びを発揮し、郷土“しんぐう”への貢献意識の高揚

(5) 学校の経営課題（教育目標達成のための教職員・組織・家庭・地域の課題）

- ア 生徒の自主的・計画的学習の強化と、学び合い粘り強くやり抜く力を発揮する授業改善の促進
- イ 互惠関係を深め、学び合い・支え合う力を発揮する活動の促進
- ウ 郷土“しんぐう”に対する貢献意識を高めるCS活動の再構築と推進

(6) 目指す生徒像（「東中生の矜持」：目指す「学びの達人」像）

- （学）共に学び合い、共に問題を発見・解決し、夢や新たな価値を創造し続ける生徒
- （絆）違いを認め合い、助け合い、仲間との心の繋がりを深め合う生徒
- （鍛）自助・共助、郷土“しんぐう”の発展を、逞しく、しなやかにやり抜く生徒

【校区として15年間で育む力】

諦めることなく、粘り強くやり抜く力

(7) 目指す教師像（東中教職員の矜持）

- （学）教育の専門職として、自分自身が、探究的な学びを、主体的に追求する教師
- （絆）誰ひとり取り残すことなく愛情をそそぎ、厳しさと優しさを兼ね備えた教師
- （鍛）地域や保護者の期待に応え、郷土“しんぐう”の未来を担う人財を大切に育む教師

(8) 目指す学校像

- （学）「東中生の矜持」の実現を目指す、共に知性・感性を鍛える学校
- （絆）多様な生徒・教師・保護者・地域が安心・安全に繋がり、共に学び成長する学校
- （鍛）校舎内外が常に整備され清潔感があり、共に安全文化を構築する学校

2 本年度の重点

(1) 本年度の重点目標

粘り強くやり抜く力と、多様な仲間と協働する力を、しなやかに発揮する生徒の育成

(2) 重点目標達成のための「経営の重点」

【重点1】 自ら互惠関係を深め、支え合う力を発揮する活動の促進

- ① 学級・学年・異学年における多様なリレーション活動の促進
- ② 「わからない」を大切にする集団づくりと「教えて」を発揮する活動の工夫
- ③ 「東中生の矜持」を感得させる異学年ブロック活動の継続

【重点2】 自律的・協働的な力を粘り強く発揮する学習活動の強化

- ① 自己調整を促すスケジュールノート活用の促進
- ② 振り返りを重視した自己調整学習の推進
- ③ 学びの共同活動に基づいた授業づくりと挑戦の時間の充実

【重点3】 郷土“しんぐう”に関わり、地域で力を発揮する活動の促進

- ① 「知る」「発信する」「関わる」を重視した総合的な学習の時間の工夫
- ② 「関わる」「巻き込む」を重視した学校行事やCS活動の工夫
- ③ 横断的かつ縦断的、持続可能なリーダー指導の充実

(3) 経営の重点に係る主な評価指標

経営の重点		評価指標	実績
重点1	多様なリレーション活動の促進	QU 学級満足群の割合、全学級での伸び率アップ 職員の自己評価質問項目 3.4P 以上	
	集団づくりと発揮する活動の工夫	生活アンケート「助けを求められることができる」3.2P 以上 いじめアンケート「いじめる側に責任」95%以上	
	異学年ブロック活動の継続	学習アンケート「自分にはよいところがある」3.2P%以上 職員の自己評価質問項目 3.4P 以上	
重点2	スケジュールノートの活用	学習アンケート「SNに関する項目」3.4P 以上 職員の自己評価質問項目 3.4P 以上	
	自己調整学習の推進	学習アンケート「振り返りに関する質問」3.4P 以上 職員の自己評価質問項目 3.4P 以上	
	学びの共同活動と挑戦の時間の充実	「挑戦の問題」の無解答率 10%以下 目標正答率と正答率との差 20%以内	
重点3	総合的な学習の時間の工夫	学習アンケート「何をすべきか考える」3.2P 以上 職員の自己評価質問項目 3.4P 以上	
	学校行事やCS活動の工夫	学習アンケート「地域の行事に参加している」3.2P 以上 職員の自己評価質問項目 3.2P 以上	
	リーダー指導の充実	学びのアンケート「人の役に立つ」3.2P 以上 職員の自己評価質問項目 3.4P 以上	

3 本年度の経営構想図

校訓
学(がく:知)
絆(はん:徳)
鍛(たん:体)

学校の教育目標(令和4・5・6年度)
しなやかな知性と感性を兼ね備え、諦めることなく粘り強くやり抜き、
住み続けられる郷土“しんぐう”を地域と共につくる生徒の育成

- 経営理念
- ① 生徒たちに、よりよい教育を提供することの追求
 - ② 職員の仕事に対するやりがいと働きやすさの追求

【教育課題】

- 学習へ自主的かつ計画的に取り組む、諦めることなく粘り強くやり抜く力の発揮
- 依存することに重点を置いた互恵関係づくりの充実と、異学年ブロック活動で培った力の発揮
- 地域で自分たちの力や学びを發揮し、郷土“しんぐう”への貢献意識の高揚

【目指す生徒像】

- 【学】夢や新たな価値を創造し続ける生徒
- 【絆】仲間との心の繋がりを深め合う生徒
- 【鍛】逞しく、しなやかにやり抜く生徒

【目指す教師像】

- 【学】探究的な学びを主体的に追求する教師
- 【絆】厳しさと優しさを兼ね備えた教師
- 【鍛】未来を担う人財を大切に育む教師

【目指す学校像】

- 【学】共に知性・感性を鍛える学校
- 【絆】共に学び、成長する学校
- 【鍛】共に安全文化を構築する学校

【経営課題】

- 生徒の自主的・計画的学習の強化と、学び合い粘り強くやり抜く力を發揮する授業改善の促進
- 互恵関係を深め、学び合い・支え合う力を發揮する活動の促進
- 郷土“しんぐう”に対する貢献意識を高めるCS活動の再構築と推進

本年度の重点目標

粘り強くやり抜く力と、多様な仲間と協働する力を、しなやかに發揮する生徒の育成

防災教育

- ①防災の視点に立った授業づくり
- ②学びの共同活動による授業づくり

行事等

- ・シェイクアウト
- ・引渡し訓練
- ・修学旅行

総合的な学習
の時間

重点1 自ら互恵関係を深め、支え合う力を發揮する活動の促進

- ①学級・学年・異学年における多様なリレーション活動の促進
- ②「わからない」を大切に作る集団づくりと「教えて」を發揮する活動の工夫
- ③「東中生の矜持」を感得させる異学年ブロック活動の継続

重点2 自律的・協働的な力を粘り強く發揮する学習活動の強化

- ①自己調整を促すスケジュールノート活用の促進
- ②振り返りを重視した自己調整学習の推進
- ③学びの共同活動に基づいた授業づくりと挑戦の時間の充実

重点3 郷土“しんぐう”に関わり、地域で力を發揮する活動の促進

- ①「知る」「発信する」「関わる」を重視した総合的な学習の時間の工夫
- ②「関わる」「巻き込む」を重視した学校行事やCS活動の工夫
- ③横断的かつ縦断的、持続可能なリーダー指導の充実

働き方改革 人権教育 ICTの利活用 学校環境整備 信頼される学校づくり

町「かがやきプラン」

令和の日本型学校教育

校風・伝統、CS